

コープ即席カップ麺についてのお詫びとお知らせ

いつも生協の商品をご利用いただきありがとうございます。またこのたびは、コープの即席カップ麺に関する報道等で組合員のみなさまに大変なご不安とご心配、配達中止によりご迷惑をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

今回、COOP商品ではありませんが、神奈川県藤沢市でパラジクロロベンゼンが原因と思われる健康被害が発生したことを受け、「CO・OPカップラーメン 68g」「CO・OPコープヌードルしょうゆ 75g」等の5商品について、これまでの異臭クレームの中で藤沢市の件と同じパラジクロロベンゼンが検出されていた事例があったことと、組合員のみなさまに心配や不安が広がるなか、念のために緊急措置として、共同購入では10月24日午後からの配達を中止し、店舗ではすでに店頭から撤去させていただいております。

<対象商品>



●	CO・OP	コープヌードルしょうゆ	70g	日清食品/滋賀工場
●	CO・OP	コープヌードルシーフード	72g	日清食品/滋賀工場
●	CO・OP	コープヌードルカレー	82g	日清食品/滋賀工場
●	CO・OP	コープヌードルとんこつ	75g	日清食品/滋賀工場
●	CO・OP	カップラーメン	68g	日清食品/明星食品 嵐山工場

<経過>

現在、出荷停止ならびに店頭撤去している「CO・OPカップラーメン」、「CO・OPコープヌードルしょうゆ」など5商品について、異臭のお申し出が今年度で29件ありました。取引先である日清食品に検査を要請したところ、このうち9件からパラジクロロベンゼンやナフタレンの検出が報告されました。その検出値は、微量であり健康被害が想定できないと判断できる結果でした。

これら9件のお申し出があった商品の製造日はすべて異なり、お申し出があった地域も関東地区2件、東海地区1件、関西地区3件、中国地区3件とさまざまです。製造工場内ではパラジクロロベンゼン・ナフタレンの含まれる薬剤は使用されていません。以上から、工場由来の事象ではなく、多発性が想定されない、流通ルートなど個別性の強い事案と判断しました。

あわせて原因を追究するため、防虫剤などからの臭い移りの可能性について、日清食品に再現テストを要請しました。その結果、臭いや成分がカップ中の麺などに移行し、苦情品の検査で検出された濃度に達しうる事が確かめられました。

また、配送トラックの調査や倉庫点検を行いました。現在のところ、パラジクロロベンゼンやナフタレンの含まれる薬剤等の使用実態がないことを確認しております。

日本生協連では、以上の事から、製造段階での混入の可能性は極めて低いこと、あわせて「臭いおよび成分の移香」の可能性が考えられること、およびその他のお申し出や健康危害が申告された事例がないことを考慮し、検査結果も合わせ人体被害のないレベルである事を確認し、今回の異臭クレームについては、広く公表し注意喚起を促すことが求められるものではないと判断していました。

<今後の対応について>

上記の通り、製造段階での混入ではなく商品個別の理由による「移香」（いこう）と考えておりますので、現在お手元にある商品については問題ないと判断しております。

日本生協連としては引き続き調査をおこなうこととしております。取り扱いについては、調査結果を踏まえて改めてご案内させていただきます。

<一部の報道に関して>

一部報道では「日本生協連がクレーム内容を隠していた」というニュアンスで伝えているところがありますが、上記のように、「香りが移ったもの」と判断し、お申し出の組合員にご報告さしあげていたものです。一部のテレビニュースでは日本生協連の対応として「苦情公表しなかったのは日本生協連の広報には情報が伝わってなかった」と報道されていましたが、この報道は誤解を招くものと考え、報道機関に対して、あらためて事実関係および判断について説明し、理解を求めました。

日本生協連ホームページ <http://jccu.coop/>

※パラジクロロベンゼンとナフタレンとは

パラジクロロベンゼンは、タンスや衣類収納ケースなどの防虫剤として数十年前から家庭で用いられている化学物質です。一般にどこで使用していても半年程度でなくなってしまうようですから、使用した量はすべて揮発して室内空気に放散された後、外に出ていく道筋をたどります。なお、製品に記載されている標準的な使用量は、防虫効果が十分期待できる量のことです。したがって、使用場所付近では揮発したパラジクロロベンゼンの室内濃度は高い状態になっています。住まいの構造・設備によっては、室内全体が高濃度になることもあります。衣類用防虫剤は、パラジクロロベンゼン製剤のほかにナフタリン製剤、しょう脳製剤、ピレスロイド系殺虫剤（無臭）があります。

一般的に防虫剤の近くに商品を保管した場合、臭い及び成分が移香することが考えられるため、日清食品(株)にて再現テストを実施したところ、移香することが認められています。